午前実施【小学校・情報以外】

令和６年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

教職教養　　１／６枚中

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第１問題　次の問に答えよ。

問１　次の文は、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」（平成31年１月25日 文部科学省）において「勤務時間」の対象となる「在校時間等、外形的に把握することができる時間」に関するものである。誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

① 校内に在校して学習指導、生徒指導、校務などに従事している時間。
② 所定の勤務時間外に校内において自らの判断に基づいて自らの力量を高めるために行う自己研鑽の時間。
③ 校外において、職務として行う研修に参加している時間。
④ 時間外勤務命令に基づくもの以外で、児童生徒等の校外への引率等の職務に従事している時間。
⑤ 各地方公共団体で定める方法によるテレワーク等による時間。

問２　次の文は、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」（平成27年12月 中央教育審議会）について述べたものである。文中の［ア］～［オ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

「チームとしての学校」像は、校長のリーダーシップの下、［ア］、日々の教育活動、学校の資源が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校である。我が国の学校の教員は、従来から、教育に関する専門性を共通の基盤として持ちつつ、それぞれ独自の得意分野を生かし、学校の中で、授業や生徒指導等の様々な教育活動の場面で「チームとして」連携・協働し、成果を上げてきた。一方、近年は、学校の多忙化等が指摘される中、教員が［イ］しているという指摘もある。今後、専門能力スタッフや地域の力の参画を得るに当たっては、まず、教員が「チームとして」教育活動に取り組むことが重要である。その上で、多様な専門性や経験を有する専門能力スタッフ等が学校の教育活動に参画することとなることから、教員も専門能力スタッフも「チームとしての学校」の一員として、目的を共有し、取組の方向性を描えることが今まで以上に求められる。その際、関係者間の［ウ］が重要となるので、関係者間で十分なコミュニケーションを取ることができるようにする必要がある。ICT機器等も活用し、情報の重要性を勘案して、共有すればよいもの、［エ］することが必要なものなど、コミュニケーションの充実に取り組んでいくべきである。また、チーム体制を構築していくに当たっては、それぞれの職務内容、権限と責任を明確化することによって、チームを構成する個々人がそれぞれの立場・役割を認識し、［オ］を持ち学校の課題への対応や業務の効率的・効果的な実施に取り組んでいくことが重要である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	教育目標	孤立化	情報共有	相談	当事者意識
②	教育目標	バーンアウト	情報共有	伝達	個々のビジョン
③	カリキュラム	バーンアウト	共通理解	伝達	当事者意識
④	カリキュラム	孤立化	共通理解	相談	個々のビジョン
⑤	カリキュラム	孤立化	情報共有	相談	当事者意識

2025 kyosai-guild.jp

問3　次の文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）における「総合的な学習の時間の目標」を示したものである。［ア］～［オ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。なお、「小学校学習指導要領」（平成29年告示）、「高等学校学習指導要領」（平成30年告示）に関しても、同趣旨の文がある。

> 探究的な見方・考え方を働かせ、［ア］・総合的な学習を行うことを通して、よりよく［イ］を解決し、［ウ］を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
> （1）探究的な学習の過程において、［イ］の解決に必要な知識及び技能を身に付け、［イ］に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
> （2）［エ］の中から問いを見いだし、自分で［イ］を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
> （3）探究的な学習に主体的・［オ］に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	横断的	問題	自己の生き方	実社会や実生活	協働的
②	専門的	課題	よりよい社会の実現	過去の歴史	協力的
③	横断的	課題	よりよい社会の実現	過去の歴史	協働的
④	横断的	課題	自己の生き方	実社会や実生活	協働的
⑤	専門的	問題	自己の生き方	過去の歴史	協力的

問4　次の文は、インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン、合理的配慮について説明したものである。誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

① 「障害者の権利に関する条約」の第二十四条では、障害のある児童生徒がそれぞれの障害に基づいて無償のかつ義務的な特別支援教育を提供されることなど、障害者が、それぞれのニーズに応じた教育を公教育制度の下で確保されることが定められている。

② ユニバーサルデザイン2020行動計画で取り組む「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことである。

③ 各人が「心のバリアフリー」を体現するためには、障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること、障害のある人（及びその家族）への差別を行わないよう徹底すること、自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うことがポイントとなる。

④ 「合理的配慮」とは、障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるものであり、学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないものである。

⑤ 「合理的配慮」は、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等に応じて決定されるものであり、設置者・学校と本人・保護者により、発達の段階を考慮しつつ、「合理的配慮」の観点を踏まえ、「合理的配慮」について可能な限り合意形成を図った上で決定し、提供されることが望ましく、その内容を個別の教育支援計画に明記することが望ましい。

2025 kyosai-guild.jp

問5　次の文は、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」（平成28年4月1日 文部科学省）の一部である。文中の［ア］～［オ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

性同一性障害に係る児童生徒が求める支援は、（中略）学校として［ア］をもたず、その時々の児童生徒の状況等に応じた支援を行うことが必要であること。

他の児童生徒や［イ］との情報の共有は、当事者である児童生徒や［イ］の意向等を踏まえ、個別の事情に応じて進める必要があること。

（中略）

指導要録の記載については学齢簿の記載に基づき行いつつ、卒業後に法に基づく［ウ］上の性別の変更等を行った者から卒業証明書等の発行を求められた場合は、［ウ］を確認した上で、当該者が不利益を被らないよう適切に対応すること。

（中略）

性同一性障害に係る児童生徒や「性的マイノリティ」とされる児童生徒は、自身のそうした状態を［エ］しておきたい場合があること等を踏まえつつ、学校においては、日頃より児童生徒が相談しやすい環境を整えていくことが望まれること。このため、まず教職員自身が性同一性障害や「性的マイノリティ」全般についての心ない言動を慎むことはもちろん、例えば、ある児童生徒が、その［ウ］上の性別によく見られる［オ］等としていない場合、性同一性障害等を理由としている可能性を考慮し、そのことを一方的に否定したり揶揄（やゆ）したりしないこと等が考えられること。

教職員が児童生徒から相談を受けた際は、当該児童生徒からの信頼を踏まえつつ、まずは悩みや不安を聞く姿勢を示すことが重要であること。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	固定観念	教育委員会	身体	カミングアウト	言葉遣いや態度
②	固定観念	保護者	戸籍	秘匿	服装や髪形
③	先入観	保護者	戸籍	秘匿	服装や髪形
④	先入観	教育委員会	戸籍	カミングアウト	言葉遣いや態度
⑤	先入観	保護者	身体	カミングアウト	言葉遣いや態度

2025 kyosai-guild.jp

問6　次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）に関するものである。誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

① 生徒指導と同様に、児童生徒の社会的自己実現を支える教育活動としてキャリア教育がある。生徒指導を進める上で、両者の相互作用を理解して、一体となった取組を行うことが大切である。

② 小・中学校学習指導要領の総則においては、キャリア教育について「児童（生徒）が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。」と示されている。

③ キャリア教育を学校教育全体で進めるという前提の下、これまでの教科の学びや体験活動等を振り返るなど、教育活動全体の取組を自己の将来や社会につなげていくことが求められている。

④ 進路指導の中にキャリア教育が包含されており、小・中・高のそれぞれの段階における進路指導の一環としてキャリア教育を実施することが望ましい。

⑤ いじめや暴力行為などの生徒指導上の課題への対応においては、児童生徒の反省だけでは再発防止力は弱く、自他の人生への影響を考えること、自己の生き方を見つめること、自己の内面の変化を振り返ること及び将来の夢や進路目標を明確にすることが重要である。

問7　次の文は、いじめ防止対策推進法の条文である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

（目的）
第一条　この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の［ア］権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び［イ］の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の［ウ］を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体等の責務を明らかにし、並びにいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について定めるとともに、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

	ア	イ	ウ
①	健康で文化的な生活を営む	学力	健康
②	健康で文化的な生活を営む	人格	尊厳
③	教育を受ける	人格	尊厳
④	教育を受ける	学力	健康
⑤	健康で文化的な生活を営む	学力	尊厳

2025 kyosai-guild.jp

問8　次の文は、学校保健安全法及び同法施行令に関するものである。誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

① 出席停止の期間は、感染症の種類等に応じて、学校設置者の定める基準による。
② 学校の設置者は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。
③ 学校においては、毎学年定期に、児童生徒等（通信による教育を受ける学生を除く。）の健康診断を行わなければならない。
④ 学校には、健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。
⑤ 校長は、感染症にかかつており、かかつている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

問9　次の文は、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律の条文である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

（基本理念）
第四条　教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、教育職員等による児童生徒性暴力等が全ての児童生徒等の［ア］に関係する重大な問題であるという基本的認識の下に行われなければならない。
2　教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、児童生徒等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず教育職員等による児童生徒性暴力等を［イ］することを旨として行われなければならない。
3　教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する施策は、被害を受けた児童生徒等を適切かつ迅速に［ウ］することを旨として行われなければならない。

	ア	イ	ウ
①	キャリア発達	根絶	隔離
②	キャリア発達	予防	隔離
③	心身の健全な発達	根絶	保護
④	キャリア発達	根絶	保護
⑤	心身の健全な発達	予防	隔離

2025 kyosai-guild.jp

問10　次の文は、学校教育の情報化の推進に関する法律の条文である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

（基本理念）

第三条　学校教育の情報化の推進は、情報通信技術の特性を生かして、個々の児童生徒の能力、特性等に応じた教育、［ア］のある教育（児童生徒の主体的な学習を促す教育をいう。）等が学校の教員による適切な指導を通じて行われることにより、各教科等の指導等において、情報及び情報手段を主体的に選択し、及びこれを活用する能力の体系的な育成その他の知識及び技能の習得等（心身の発達に応じて、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをいう。）が効果的に図られるよう行われなければならない。

2　学校教育の情報化の推進は、デジタル教科書その他のデジタル教材を活用した学習その他の情報通信技術を活用した学習とデジタル教材以外の教材を活用した学習、［イ］等とを適切に組み合わせること等により、多様な方法による学習が推進されるよう行われなければならない。

（中略）

5　学校教育の情報化の推進は、児童生徒等の［ウ］の適正な取扱い及びサイバーセキュリティ（サイバーセキュリティ基本法（平成二十六年法律第百四号）第二条に規定するサイバーセキュリティをいう。第十七条において同じ。）の確保を図りつつ行われなければならない。

	ア	イ	ウ
①	双方向性	言語学習	通信技術
②	一方向性	言語学習	個人情報
③	双方向性	体験学習	通信技術
④	一方向性	体験学習	個人情報
⑤	双方向性	体験学習	個人情報

2025 kyosai-guild.jp

令和６年度　解答用紙

教職教養

受験番号

第１問題　　各２点

問１	②	問２	⑤	問３	④	問４	①	問５	③
問６	④	問７	③	問８	①	問９	③	問10	⑤

2025 kyosai-guild.jp

午後実施【小学校・情報】

令和６年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

教職教養

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第１問題　次の問に答えよ。

問１　次の文は、「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）」（令和３年１月 中央教育審議会）の記述である。文中の［　ア　］～［　ウ　］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

> GIGAスクール構想により配備される１人１台の［　ア　］は、シンプルかつ安価なものであり、この［　ア　］からネットワークを通じて［　イ　］にアクセスし［　イ　］上のデータ、各種サービスを活用することを前提としている。このため、学校内のみならず学校外とつなぐネットワークが高速大容量であること、地方公共団体等の学校の設置者が整備する教育情報［　ウ　］ポリシー等において、［　イ　］の活用を禁止せず、必要な［　ウ　］対策を講じた上でその活用を進めることが必要である。

	ア	イ	ウ
①	端末	クラウド	セーフティ
②	端末	ホームページ	セキュリティ
③	ＰＣ	クラウド	セーフティ
④	ＰＣ	ホームページ	セーフティ
⑤	端末	クラウド	セキュリティ

2025 kyosai-guild.jp

問2　次の①～⑤から、「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（令和4年文部科学省告示第115号）に記載されている内容として正しいものをすべて選べ。

① 教員等の資質の向上を図るに当たっては、校内研修や授業研究・保育研究などの「現場の経験」を重視した学びを中心として、教育公務員特例法第20条第1項の研修実施者や様々な主体が行う校外研修によって最適に補完される組合せにより実施されることが重要である。

② 校内研修等は、それぞれの学校の教育課題に対応した協働的な学びを学校組織全体で行い、その成果を教職員間で共有することにより、学校の組織力を高め、効果的な学校教育活動の実施にも資するものであり、校長のリーダーシップの下、より活性化させていくことが求められる。

③ 研修の実施に当たっては、対面・集合型で行われるもの、同時双方向型のオンラインで行われるもの、オンデマンド型のオンラインで行われるものなど、様々な実施方法が想定される。特に、近年の情報化の進展等により、オンラインによる研修が急速に広まっており、その利点を最大限に生かすとともに、主として知識伝達型の学びであるかどうか、協議やグループワーク形式により学びを深めるものであるかどうかなど、研修の内容・態様に応じて、これらの方法を適切に組み合わせる必要がある。

④ 研修を実施する際には、受講そのものを目的化するのではなく、その成果がどのように職務に生かされるかという視点を常に持ちながら行われなければならない。このため、成果の確認方法を、研修の性質に応じて明確化することが重要であり、特に研修実施者が実施する体系的かつ計画的に行われる研修については、成果の確認方法をあらかじめ明確化した上で実施することが極めて重要である。

⑤ 日々の授業・保育（以下「授業等」という。）の改善など「現場の経験」を重視した学びでは、設置自治体の教育委員会の指導主事等が、当該校における学校教育課題や教員のニーズ等を踏まえて研修・研究テーマを適切に設定するとともに、定期的な授業等の観察や指導助言を訪問して実施するなど、適切な関与を行うことにより、組織的に状況を確認し、教員の資質の向上を支えることが重要である。

問3　経済協力開発機構（OECD）が2019年5月に発表した "Learning Compass 2030" において、実現を目指していくとするものは何か。正しいものを①～⑤から一つ選べ。

① SDGs
② PISA
③ Society 5.0
④ Well-being
⑤ IoT

2025 kyosai-guild.jp

問4　次の①～⑤で説明されている特別支援教育に関する記述のうち、誤っているものを一つ選べ。

① 障害のある子供の学びの場については、障害者の権利に関する条約に基づく「インクルーシブ教育システム」の理念の実現に向け、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に教育を受けられるように条件整備が行われている。

② 障害のある子供の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった明確に分離された学びの場の整備が行われている。

③ 小学校、中学校等において、対象となる障害種がある児童生徒に対し、障害による学習上又は生活上の困難を克服するために特別支援学級が設置されている。

④ 小学校、中学校、高等学校等において、通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障害に応じた特別の通級による指導が行われている。

⑤ 小学校、中学校、高等学校等でも、障害のある児童生徒が通常の学級に在籍しており、個々の障害に配慮しつつ通常の教育課程に基づく指導が行われている。

問5　次のア～オについて、「人権教育の指導方法等の在り方について［第三次とりまとめ］」（平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）で述べられているものの組合せとして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

ア　人権教育は、人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤として、意識、態度、実践的な行動力など様々な資質や能力を育成し、発展させることを目指す総合的な教育である。

イ　人権教育により身に付けるべき知識は、自他の人権を尊重したり人権問題について考えたりする上で役立つ見方・考え方でなければならない。例えば、自由、責任、正義、個人の尊厳、権利、義務などの諸概念についての知識、人権の歴史や現状についての知識、国内法や国際法等々に関する知識、自他の人権を擁護し人権侵害の予防や解決策を検討するために必要な理論的知識等が含まれる。

ウ　人権教育が育成を目指す価値や態度には、人間の尊厳の尊重、自他の人権の尊重、多様性に対する肯定的評価、責任感、正義や自由の実現のために活動しようとする意欲などが含まれる。人権に関する知識や人権擁護に必要な諸技能を人権実現のための実践行動に結びつけるためには、このような価値や態度の育成が不可欠である。

エ　人権の本質やその重要性を実践的な知識として知るだけでは、必ずしも人権擁護の実現に十分であるとはいえない。人権に関わる事柄を直観的に感受するだけではなく、その内容を認知的に捉え、反省的に考察し、それを体系化することが求められる。そのような理解や体系化のためには、様々な技能の助けが必要である。

オ　人権教育が育成を目指す技能には、コミュニケーション技能、合理的・分析的に思考する技能や偏見や差別を見きわめる技能、その他相違を認めて受容できるための諸技能、協力的・建設的に問題解決に取り組む技能、責任を負う技能などが含まれる。こうした諸技能が人権感覚を鋭敏にする。

① ア・ウ・オ
② イ・エ・オ
③ ア・イ・ウ
④ イ・ウ・エ
⑤ ア・ウ・エ

2025 kyosai-guild.jp

問6　次の①～⑤で説明されている学習（活動）の形態に関する記述のうち、誤っているものを一つ選べ。

① 一斉学習とは、学級の全員が一人の教師の下で、同一内容を同一進度で学習する学習形態である。

② 一斉学習では、学習者相互の関係は薄いものの、多人数を経済的に教育しうるので、義務教育制度の発達とともに学校の学習形態の主流となった。

③ 一斉学習では、それぞれの子どもの能力・学力・理解の正確な把握に基づいて、その実態に即した個別の教材の提示と多様な指導法によって、知識・技能の習得が目指される。

④ 小集団学習（活動）では、活動の種類によって主に学習班と生活班に分けられるが、その人数や期間は目的に応じてさまざまである。

⑤ 小集団学習（活動）は、少人数による対面的接触が密接なため、お互いの理解が容易でありかつ深めやすいなどの意義を有するが、成員間に協同的な人間関係が生まれるようにすることなど、教師の意図的、計画的な働きかけが不可欠である。

問7　次の文は、教育基本法の条文である。［ア］、［イ］にあてはまる語句の組合せとして正しいものを①～⑥から一つ選べ。

> （教育の目的）
> 第一条　教育は、［ア］を目指し、平和で［イ］な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

	ア	イ
①	学力の伸長	民主的
②	個人の自立	平等
③	人格の完成	民主的
④	学力の伸長	平等
⑤	人格の完成	文化的
⑥	個人の自立	文化的

問8　次の①～⑤から、体罰に相当するものを一つ選べ。

① 宿題を忘れた児童に対して、教室の後方で正座で授業を受けるよう言い、児童が苦痛を訴えたが、そのままの姿勢を保持させる。

② 休み時間に廊下で、他の児童を押さえつけて殴るという行為に及んだ児童がいたため、この児童の両肩をつかんで引き離す。

③ 学校当番を多く割り当てる。

④ 立ち歩きの多い児童生徒を叱って席につかせる。

⑤ 児童が教員の指導に反抗して教員の足を蹴ったため、児童の背後に回り、体をきつく押さえる。

2025 kyosai-guild.jp

問9　次の文は、服務に関するものである。地方公務員法に照らして正しいものを①～⑤から一つ選べ。

① 職員は、その職務を遂行するに当って、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、任命権者の身分上の命令に忠実に従わなければならない。
② 職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。ただし、その職を退いた後は、この限りではない。
③ 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。
④ 職員は、その職全体の信頼を毀損し、又は職員の不利益となるような行為をしてはならない。
⑤ 職員は、法律の定めるところにより、服務の宣誓をしなければならない。

問10　次の文は、学校教育における目標に関するものである。学校教育法の規定に照らして誤っているものを①～⑤から一つ選べ。

① 義務教育の目標の一つに、我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことがある。
② 義務教育の目標の一つに、学校外における体験活動を促進し、自主、自律及び協調の精神、規範意識、公正な思考力並びに共生の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことがある。
③ 高等学校の目標の一つに、社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させることがある。
④ 高等学校の目標の一つに、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うことがある。
⑤ 中等教育学校の目標の一つに、個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うことがある。

2025 kyosai-guild.jp

令和６年度　解答用紙

教職教養

受験番号

第１問題　　各２点

問１	⑤	問２	②③④	問３	④	問４	②	問５	①
問６	③	問７	③	問８	①	問９	③	問10	②

2025 kyosai-guild.jp